

2023 年度 九州歯科大学 「経済学」 定期試験 設問・解答用紙

※ホチキスを外してはならない。ホチキスをつけたまま、用紙はすべて回収します。

※解答はすべて解答欄に記入しなさい。

※1 頁目と 3 頁目の末尾に氏名・出席番号を必ず記入してください。記入がない場合には、ゼロ点となる場合があります。

設問 01 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい（番号 1 は存在しない。正しい文が一つもない場合には、「0」を解答しなさい。授業内容に則して判断すること。以下同様。設問 15 まで各 3 点）。解答欄⇒〔 6 〕

2. 国防は国が提供しており、水道行政は自治体が提供している。どちらも公的部門が生産者（供給者）なので、公共財といえる。
3. 基礎教育を提供する私立の学校もあるが、民間に任せるだけでは国にとって価値のある水準に達しないので、国が教育をテコ入れしている。この意味で、教育は価値財といえる。
4. 日本で薬価を国が決めている一番の理由は、国民に薬代をすべて負担させる仕組みを維持することにより、製薬企業を存続させて国民の健康と福祉に資するためである。

設問 02 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 0 〕

2. マーケットメカニズムを成立させる完全競争とは、ある消費者が財を購入すると、他の人が購入できる分が減るという意味で、競合性が働くことを意味している。
3. 比較優位の理論によると、人口が多く労賃が安い途上国と、高い生産技術を持っている先進国とでは、先進国が労働集約的な産業に特化し、途上国が資本集約的な産業に特化したうえで、交換（輸出入）を行うことで、実質的にはそれぞれの優位な部門の財をより多く享受できることになる。
4. あるレストランが、アップルパイを新規に販売すれば月に 200 万円の売上が予想されるが、そのために現在売上が月 150 万円のシフォンケーキをとりやめざるを得ないとする。アップルパイの販売をスタートする機会費用としては、シフォンケーキの売上げは既存のものなので計算に入らない。

設問 03 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 12 〕

2. 生活必需品は必須のものなので、その価格変化は消費者にストレートに影響する。よって、生活必需品の需要曲線は、横軸に対してなだらかな曲線となる。
3. 所得が増えることで、どれだけ需要が増えるかは、需要の所得弾力性で表現できる。
4. 牡蠣鍋が大好きな人が、牡蠣の値上がりによって、牡蠣を減らして豆腐を増やす行動は、代替効果といえる。

氏名：

出席番号：

5. 新型 iPhone の値引きセールをしたところ、購入した客の中には、①まだ買い替えるつもりはなかったが、セールで安くなっていて、収入と比べて割安感を持ったので買った人、②新型は高いので他の携帯を買う予定だったが、新型がセールで安くなったので、そちらを買うことにした人、そして③その両方の動機で買った人、がいる。③では、ギッフェン財としての代替効果が働いた、といえる。

設問 04 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 4 〕

2. 需要の価格への弾力性とは、価格の1パーセントの変化(分子)が、需要の何パーセントの変化(分母)に対して起きたのかを表している。
3. 何かの財が値上がりしたら、所得が不変であれば、実質所得は減少したことになるので、所得効果のみが起きて代替効果は起きない。
4. ある価格での需要曲線の接戦は、価格の限界的な変化に対する需要の変化を表しており、微分と差分が近似するという意味でも、需要の価格弾力性を表すといえる。

設問 05 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 24 〕

2. 価格の地理的な開きを利用して利益を得ようとする取引は裁定取引、価格の時間的な変化を利用して利益を得ようとする取引は投機取引である。
3. 価格の地理的な開きを利用して利益を得ようとする取引の結果、価格について成り立つ法則は、一物一価の法則である。
4. 幕末に、国際貿易で盛んに使われていた銀貨は、メキシコ銀貨である。

設問 06 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 4 〕

2. より大きな農地で大規模農業をやると、収穫量当たりのコストは低くなる。これは「範囲の経済」が働いたのである。
3. 通常、生産量を増やそうとして費用を追加してゆくと、生産量は費用に比例して増加する。これを収穫逡増の法則という。
4. 通常、同じ量だけ生産量を増やそうとしたら、追加費用は逡増する。これは限界費用の逡増の法則である。
5. 完全競争の下では、価格=限界費用となるように、消費者は行動する。

設問 07 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 0 〕

2. 需要曲線と供給曲線のグラフを描いたとき、均衡価格(交点)よりも右側の水平な線と、需要曲線および供給曲線が囲む面積は、消費者余剰および生産者余剰である。
3. 貿易なしの状態と、輸入関税ありの貿易とを比較したとき、一国の総余剰は不変である。なぜなら、政府に関税収入が入ることで、回復できない損失が回収されるからである。

4. 輸入数量制限を実施すると、通常かつ理論上は、需要に対して供給が不足するので、その財の価格は下落する。

設問 08 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 3 〕

2. 税の帰着の観点からすれば、消費税率の引上げは、消費者が支払うべき税の増加なので、生産者にとっては負担がない。
3. 生活必需品に課税することは、奢侈品に課税するのと比較すると、消費者は税の支払いを回避しにくい。
4. 需要の価格弾力性が大きい財に課税すると、消費者が負担する税は比較的大きい。

設問 09 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 12 〕

2. 情報の非対称性によって、中古車市場で高価で粗悪なものばかり売られるようになることを逆選択という。
3. 免許証にゴールドドライバーである旨が表示されていることは、自動車保険の契約の際には、一種のシグナリングとして役立つ。
4. 工場から排出される汚染物質は、生産者である企業と、製品の買い手としての消費者とは別の、第三者である地域住民に害を及ぼす。これは負の外部性といえる。

設問 10 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 0 〕

2. 通常の財は、誰かがその商品を購入したり、サービスを利用したりしたら、他の人の分はそれだけ減少する。これを競争性といい、市場の失敗の原因の一つである。
3. 電力やガスの生産・販売には、通常は大規模な送電網やガス管の設置を伴う。その結果、新規参入企業は初期投資の面で費用的に太刀打ちできず、一社による独占が成立しがちである。これを天然独占という。
4. 天然資源や野生の動物を競って乱獲すれば、枯渇・絶滅する可能性がある。これは、排除性があるためである。

設問 11 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 40 〕

2. 限界費用とは、総費用関数を微分したものである。
3. 価格＝限界費用となる生産量では、利潤・収入は最大化しない。
4. 一般的な財では、限界生産物は逡減する。
5. 一般的な総費用曲線は、逆S字型となる（縦軸が費用、横軸が生産量）。

氏名：

出席番号：

設問 12 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 3 〕

2. $GNI = GDP + \text{国内からの要素所得} - \text{海外への要素所得}$ である。
3. 物価が4%上昇して、所得が4%上昇した場合、実質所得は不変である。
4. 民間企業が、その財務の努力によって新規投資した結果、連鎖的にGDPに波及する効果を財政乗数という。

設問 13 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 6 〕

2. フリップス曲線とは、名目賃金の変化率を縦軸に、失業率を横軸にしたグラフのことである。
3. 自発的失業とは、本当は働きたいものの、その賃金に同意できない、習慣の違いになじめない、勤務時間や勤務地が希望に合わないなど、自らの意思で働かないという選択をしていることである。
4. 労働に対する需要曲線は、求職する労働者のニーズを表したもので、労賃（縦軸）が上がれば求職も増える、右肩上がりの曲線である。

設問 14 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 0 〕

2. 日本政府の主な歳入は、税収、税外収入、国債費である。
3. 新規国債マイナス国債費が、プラスの数値であるということは、政府債務残高が減少していることを意味する。
4. マネタイゼーションとは、民間銀行による国債の直接引受けや政府紙幣の発行などの措置によって通貨を乱発し、財政赤字・政府債務を乗り切ろうとする行動である。

設問 15 以下の各文の中で正しいものの番号をすべて掛け算するといくつになるか、整数で答えなさい。解答欄⇒〔 24 〕

2. 回帰分析で、係数と定数項を算出する際に使われる主な手法は、最小二乗法である。
3. 回帰分析におけるt値とは、係数の値÷標準誤差である。
4. 回帰分析で相関がまったくない状態というのは、被説明変数＝係数×説明変数＋定数項といったモデルにおいて、係数がゼロということである。

設問 16 医療産業を完全に民間に任せて、政府が価格の決定をせず公的医療保険も廃止された場合、何が起きるか、自由に論じなさい。※3行以上で下の解答欄に収まるように簡潔に記入すること。(5点)
〔解答欄〕

(以上、解答欄)